

音点訳ボランティア養成や図書館の職員体制について

◆音点訳ボランティア養成

1. 音訳ボランティア養成講習会（ひまわり）

全10回（9月から11月）

2. 点訳ボランティア養成講習会（ひまわり）

前期8回（4月から8月） 後期8回（10月から12月）

※障害福祉センターひまわりでは他に「手話通訳奉仕員養成講習会」「手話通訳者養成スキルアップ講習会」「要約筆記通訳ボランティア養成講習会」など実施

3. 音訳ボランティアフォローアップ講座（図書館）

全2回 音訳技術の維持、向上のため実施

4. 図書館関係団体（10月1日調べ）

大阪声のグループ（30人）：音訳図書製作を委託 プライベート音訳の協力 「声の広報」

グループ・エコー（11人）：プライベート音訳の協力 音声デジタイズ図書製作 新刊案内録音

豊中点訳会（31人）：点訳図書製作を委託 プライベート点訳の協力 「ハザードマップ」

さわる絵本 かすみ草（15人）：さわる絵本の製作

5. 対面朗読ボランティア（図書館） 登録制（登録要件不問、58人）

◆図書館の職員体制

1. 障害者サービス担当（おもに兼任）

	岡町	庄内	千里	野畑	東豊中	服部	高川	蛍池
人数	4*	1	2	2	2	1	1	1

*専任1人（障害当事者職員）

2. 令和3年度（2021年度）研修参加事例（リモート参加含む）

- ・「国立国会図書館の障害者図書館協力サービス」（近畿視情協）
- ・「障害者差別解消法と障害者サービスに必要な著作権の知識、および読書バリアフリー法の最新動向」（大阪公共図書館協会）
- ・「障がい者への接遇入門」
- ・「国立国会図書館視覚障害者等用データ送信サービス説明会」（国立国会図書館）
- ・「読みに困難のある子どもに対する支援」（大阪教育大学今枝史雄研究室）
- ・「読書のバリアフリーのための支援資料について「わいわい文庫」の紹介」（大阪府立図書館）
- ・「本と多様な立場の読者をつなぐために」（国立青少年教育振興機構）
- ・「読書のバリアフリーをすすめるために」（伊藤忠記念財団）
- ・「図書館職員として知っておきたいDAISYの知識と技術」（大阪府立図書館）
- ・「利用者の読書環境を知ろう」（大阪府立図書館。参加予定）
- ・「読書に困難のある子どもの早期発見と支援について」（大阪府教育庁。参加予定）
- ・「障害者サービス担当職員向け講座」（国立国会図書館関西館・日本図書館協会。参加予定）

※新人職員研修において障害者サービス担当から豊中市立図書館の障害者サービスについて紹介しています。

◆その他

Daigas グループ “小さな灯” 運動北東部支部：プレクストーク寄贈

伊藤忠記念財団：マルチメディアデジタイズ図書「わいわい文庫」寄贈

日本郵便：特定録音物等郵便物発受指定施設